

憲法改悪許さぬ闘いを 島根県憲法会議が総会

8月24日(土) 島根県憲法会議第18回総会が開かれ、40名が参加しました。初めに総会が行われ、活動のまとめとして「憲法フォーラム」「メイクピースのつ



講演する真栄里泰山氏

「どう」などの取り組み、会員の拡大や事務局の強化が必要など報告されました。今後の方針は、「安倍政権による憲法9条改憲反対」を中心に活動を進めていくことなどはなしあわれま

た。また、三宅孝之・島根大学名誉教授を代表、他に6名の代表委員、事務局長に池場哲也・松江保健生協労組書記次長など役員を選出しました。

総会後、真栄里泰山・沖縄大学客員教授が「辺野古新基地NOと沖縄からの憲法の平和主義の叫び」県民

投票、参院選で託した願い」と題して記念講演を行いました。

真栄里氏は、沖縄での参院選での野党統一候補の勝利を中心に、県知事選・県民投票で基地反対の戦いが国内外の意識を変える力となっていること、日米地位協定の問題点を解き明かし、日・米政府軍事強化に対して憲法の命をよみがえらせ

る沖縄からの戦いを共同して進めようと呼びかけました。最後に、真栄里勝枝さんが七百人の学童の命を奪った「学童疎開船対馬丸」の悲劇を朗読、参加者が反戦の思いを共有する集いとなりました。

9月議会充実した質問に向けての、 市議団の取り組みを紹介しします。

4日に開会した9月議会の一般質問が9日から3日間に行われて行われます。今議会では、橋よしあき議員が代表質問、吉儀けい子議員と田中はじめ議員が一般質問と田中はじめ議員が一般質問に立ちます。

共産党市議団では、充実した内容で質問ができるよう、今年度も継続的に、以下のような様々なテーマで担当部局からレクチャーを受けました。

- 河川の増水状況を監視する監視カメラの状況
- 美保関町、島根町、鹿島

- 足の不自由な方の松江城へのアクセス
- 市内の特殊詐欺被害の状況、及び、通話録音機設置補助などの対策
- 参院選挙投票率の状況と市の取り組み内容
- 水道料金滞納による給水停止件数、現状と課題
- 保育料無償化による市負担の状況と保育施策充実
- 今夏の熱中症による救急搬送の実態
- プレミアム商品券申請、購入、使用の方法

通学路・危険箇所オツチング 県議、市議も参加して・八束

8月27日、八束町で、保護者の呼びかけで通学路・危険箇所オツチングが行われ、入江地区の保護者4人、県土整備部、松江市八束支所、駐在、子ども交通安全協議会代表、尾村利成県議と橋祥朗市議ら11人が参加しました。



保護者からの説明を受ける参加者

園前や交差点では、スクーリングの表示が分かりにくく、道路上の表示が効果があるのではないか、学園前の道路が追い越し可となっているのは問題ではないか、車が40キロ制限でもかなりスピードで走っている、など実態も話し合われました。

予算やその他の事情ですぐには取り掛かれない場合も多く、繰り返し要望していくことや、担当部局に、このように現地をしつかり見てもらうことが重要だなど、こどもの安全を守る立場から、今回は多方面の関係者が一堂に会した有意義な取り組みとなりました。

第12回 しまね地域・自治夏の学校より

8月17・18日の第12回しまね地域自治「夏の学校」の記念講演は、雲南市の大谷吾郎主幹による「雲南市



雲南市の地域自主組織について説明する大谷主幹

のまちづくりと『地域自主組織』」でした。

雲南市は、概ね小学校区単位の自治会・消防団・高齢者の会などが構成メンバーとなり、30の交流センターを拠点に常勤2名と非常勤数名を地域自主組織が雇用し、市から1千万円が支給されます。

主役である市民がまちづくりの主體的に関わることを条例に掲げ、地域課題を自主的に解決する様々な実践例が紹介されました。

波多地区は、旧小学校が地域活動の拠点であり、商店が閉店したこと、その拠点にマーケットを自主組織が開店、喫茶スペースも併設。また、波多地区内だけ運行する車を活用し、車を持たない人の無料送迎や買い物した人には無料配達を行っています。

それぞれの自主組織には、担当職員が配置され、行政と自主組織は対等の関係であると位置づけられています。